

■ 都立公園の管理における基本理念

(1) 本グループの管理運営における基本理念

私たちは、「都市部の公園・南部グループ」の6公園1施設を、美しいみどりと風格ある景観を提供することだけではなく、重厚な歴史的・文化的資源を持つ人々の共通の宝物として、その価値を未来に引き継いでいくべき貴重な公園遺産であると捉え「都市部の公園・南部グループ」の公園を『レガシーパーク』と定義し、以下のとおり基本理念を設定します。

【基本理念】 『歴史・文化・時代をつなぐレガシーパークの創造』により「世界一の都市・東京」にふさわしい公園を提供します。

(2) 基本理念の実現に向けた5つの視点

- ①歴史や文化を伝えるみどり豊かな風格ある公園づくり
- ②多様な主体とのパートナーシップによる公園と地域の魅力アップ
- ③公園のポテンシャルを活かした多彩な多客万来プロジェクトの展開
- ④災害対応力の強化と不適正利用の防止による安全・安心・快適性の向上
- ⑤東京オリンピック・パラリンピックを契機としたスポーツライフの充実と開催に向けた万全な準備

(3) 実現のためのノウハウ

①歴史文化を創造する雪吊り造園技能 ②近隣企業CSRによる花壇づくり ③日比谷公園音楽祭の開催 ④地域住民や消防連携による災害対応訓練 ⑤スポーツプログラムの企画運営力

■ 組織体制と指揮命令系統

○代表団体である東京都公園協会が6公園を担当し、日比谷公園大音楽堂については現管理者である大星ビル管理と共立が担当することで、経験と専門性を活かした一体的で効率的なマネジメントを行います。

○迅速な業務遂行により安全・安心で快適な公園環境を提供するため、本部にバックアップ組織を設置するとともに、現場での調整権限を強化したグループ統括所長を設置して、役割分担を明確にし、スピード感ある管理運営に取り組みます。



■ 管理運営計画

都立公園の管理運営についての方針と具体的な取組

日比谷公園	Policy ~世界をリードする公園文化の発信~	
①観光案内所機能の取込・大音楽堂も含めた歴史探訪ガイドの充実等によるサービスセンターのインフォメーション機能 ②国内外のお客様を歓迎する「2020大江戸まつり」を地域や企業等と連携して開催 ③歴史的価値のある第一花壇、首かけイチョウ、ツツジ山の保全・再生を実施 ④「都心の芝生でランチ」等の開催による魅力的な空間の創出		
大音楽堂	Policy ~音楽で都心に潤いを与え人と人をつなぐ文化拠点~	
①日比谷公園音楽祭を「2020大江戸まつり」と連携開催し、更なる魅力を向上 ②施設利用者が催事を高品位かつ円滑に実施できるように、知識・経験豊富なスタッフによるコンシェルジュ業務を実施 ③オペレーター派遣や看板・舞台効果器具の貸出、消耗品の手配を行うなど、ワンストップサービスにより、施設利用者の準備負担を軽減		
芝公園	Policy ~芝エリアと一体となった利用促進~	
①もみじ谷の修復を記念して、長岡安平が設計に携った全国の公園関係者によるサミットを開催 ②東京タワー等の周辺施設と連携したイベント等の開催による芝エリアの活性化 ③NEC等の近隣企業と連携し、生物多様性花壇づくりを推進		
林試の森公園	Policy ~「都会の森の博物館」としての楽しさアップ!~	
①植物多様性センター等と連携して、珍樹や多様な植物等の生物多様性の保全・育成活動を実施 ②関係団体等と連携し、森のコンサートや子供向け森のデイキャンプ等を実施 ③目黒区・品川区・ボランティア等と連携して林試の森フェスタや防災訓練等を実施し、地域の活性化に貢献		
蘆花恒春園	Policy ~地域に生きる武蔵野の文豪公園の魅力づくり~	
①開園80周年記念及び蘆花生誕150周年記念としてイベントを実施 ②歴史文化遺産を伝えるガイドボランティアを新たに育成し、後世に継承する仕組みを構築 ③地域連携による協働を推進した、花の丘や蘆花記念館、ドッグランの利用促進		
祖師谷公園	Policy ~地域に共生する「ホームパーク」づくり~	
①近隣住民等との地域連絡協議会を定期的に開催して、こいのぼりや七夕イベント等を開催し、地域の活性化に貢献 ②点在している飛び地を活用した樹木クイズラリー等を実施 ③地域と連携した防災訓練の実施等による防災対応力強化と、警察等との連携による防犯対策を推進		
青山公園	Policy ~おしゃれでスタイリッシュな青山ブランドの公園づくり~	
①北地区にお花畑を新たに作り、公園の魅力とまちの価値を向上 ②企業等と連携して青山公園開園50周年記念イベントを開催 ③日本ウォーキング協会と連携して、都心のみどりを巡るウォーキングイベント等を実施		

■ 維持管理計画

（１）適切な維持管理を行うための取組

歴史・文化・時代をつなぐレガシーパークとして、各々の個性ある資源を最大限に活かし、魅力を創造する維持管理を行います。

①安全・安心・快適性を常に追求する計画的な維持管理

P D C Aサイクルに基づき、公園利用者の声も反映させながら、予防保全的観点に立ち、施設の長寿命化を図り、ライフサイクルコストの低減化に努めます。



②多様な共同作業による品格ある公園空間の創出

公園を熟知した職員による「スペシャリスト選抜共同作業」、「エリア別共同作業」、「グループ全体共同作業」の三つのグループの共同作業の展開により効果的、効果的に風格ある都市景観を育成します。

③魅力的な花壇管理「お花いっぱい事業」の推進

専属のガーデナーを配置し、公園全体の花壇コーディネートを行い、「チルドレンガーデン」など魅力的な花壇管理の推進を図ります。



④ICTを活用したリアルタイムな維持管理

位置情報システムを活用した、施設の不具合や災害時の被害状況等を速やかに集約する独自のシステム（公園クイックナビ）を構築し、得られた情報を元に施設特性に応じた修繕や応急措置等を迅速かつ的確に実施し安全性と利便性を確保します。

⑤環境に配慮した維持管理

独自の「生物多様性保全戦略」に基づき、公園ごとに生息を図るべき生物相を定め、生物多様性の保全に配慮した維持等を進めます。

⑥長年の経験から培った大音楽堂の保守点検

舞台装置を始めとした施設全体の管理に関して、「日常の保守点検」と「専門業者による定期保守点検及び非常時のメンテナンス」の二本柱と考え、安全を第一に考える舞台装置の維持管理を行います。

⑦ユニバーサルデザインに配慮した維持管理

外国人観光客向けの多言語対応案内板やピクトサインの充実、ユニバーサルデザインフォントを採用した看板など、来園者の誰もが安心して利用できる、案内環境を確保します。



⑧歴史ある樹木や施設の上質な維持管理による公園レガシーの継承

各公園を代表する景観を「パークビュー」として選定し、きめ細かい植栽管理・施設管理等を行うことで、景観に磨きをかけ都市の風格を高めます。

（２）事故、自然災害や感染症等を未然に防ぐための安全対策、発生時の対応

①事故や災害を未然に防ぐため、安全講習会、安全パトロールなどを実施し、委託業者を含めて安全管理の水準を高めます。

②アメニティ巡回による異常の早期発見と樹木点検・診断による倒木防止、専門業者の保守点検等により、施設の故障や事故を未然に防ぎます。



③気象災害を想定した特約店との協定、民間気象会社と連携した局所的気象情報の収集・伝達、緊急配備体制構築をします。

④防災施設の日常、定期点検、速やかな補修を行い、補修記録を作成します

⑤感染症等に対しては東京都と連携を密にし、清掃等による抑制対策や資材・薬剤等の準備、薬剤散布業者の事前体制の構築を行います

⑥事故発生時には、けが人の救助と事故発生現場の安全確保、関係機関への連絡、事故原因の究明と再発防止策の検討を行います。

■ オリンピック・パラリンピックに向けた取組

東京オリンピック・パラリンピックを契機に世界から訪れる人々を、公園が率先して「おもてなし」を実践するため、東京都との強い連携のもと以下の様々な取組を進めることにより、都立公園の魅力向上と更なる賑わいの創出に取り組みます。

（１）世界の人々への心のこもった「おもてなし」

①日比谷公園にバイリンガルを常時配置して英語対応の拠点とし、タブレットを使ったテレビ電話通信により、全公園での英語対応を可能とします。



②サービスセンター周辺にインフォメーションボードを設置し、園内の花・イベント情報や競技会場までのアクセスなど、情報発信を積極的に行います。（日比谷、芝）

③日比谷公園は、東京オリンピック・パラリンピック開催時に、パブリックビューイングの会場として予定されていることから、東京都や関係団体等と連携し国内外のお客様を迎える対応に全力で取り組みます。さらに、公園入口に華やかなウェルカムゲートを設置して、2020年東京五輪開催を盛り上げます。



（２）都立公園の魅力を広く国内外に伝える情報発信の強化

①文字サイズや画面の色の変更に対応したホームページを作成し、アクセシビリティを向上させます。

②ツイッターやフェイスブック等のSNSを活用し、全サービスセンター長が花の見ごろ等のとれたて情報をリアルタイムで発信します。

③地域周遊マップを6言語化し、交通・観光情報等を提供します。（日比谷・芝・青山）

（３）日本文化を世界に発信する公園イベントの充実

①2020日比谷公園大江戸まつり（盆踊り、縁日、コンサート等）を開催し、日本伝統のお祭り文化を発信します。



②サクラの樹勢回復と健全育成を図り、さらには2020東京五輪開催を記念してサクラ記念樹を植栽する「東京 SAKURA プロジェクト」に取り組み、開催機運の醸成を図るとともにオリンピックレガシーを継承します。

③日比谷公園音楽祭（仮称）を開催し、音楽を通じて国際都市東京の魅力の世界に発信します。

（４）スポーツ活動の推進による東京オリンピック・パラリンピック機運の醸成

①アシックス社との共催により、ランニング教室を開催します。（日比谷）



②東京マラソン財団等と連携したジョギング教室等を実施します。（日比谷、芝）

③日本ウォーキング協会等と連携して、都心のみどりを巡る秋の公園ウォーキングイベントを開催します。（日比谷、芝、青山）



（５）利用者を快くお迎えする公園施設等の利便性の向上

①「協会サインデザインマニュアル多言語改訂版」に基づき多言語化を推進します。（日比谷、芝）

②「トイレ、ベンチ等クリーンアップ大作戦」の展開で、清潔感のある利用環境を提供します。

（６）誰もが安心して安全に過ごせる危機管理の徹底

①警察との連携により、園内警備を強化し防犯やテロ対策（爆発物、ドローン等）に取り組みます。（日比谷、芝）

②地元自治体等と連携し近隣の避難所等を掲載した英語版防災マップを配布します。（日比谷、芝、青山）